

始良市子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

会 議 名	令和4年度第2回始良市子ども・子育て会議	
日 時	令和4年10月17日（月）18：30～19：35	
会 場	始良公民館 第4・5会議室	
出 席 者	委 員	有村委員、山野委員、秋宗委員、藤谷委員、大川委員、杉尾委員、長尾委員、小門口委員、矢野委員、茶園委員、駒倉委員、益森委員、田畑委員、倉岡委員、藤塚委員 計15名 欠席者：0
	市職員等	保健福祉部次長 子どもみらい課長、保育係長、子ども福祉係長、母子保健係長、子ども政策係3名 計8名
傍 聴 人	0人	
<p>【第2回始良市子ども・子育て会議】</p> <p>議 題</p> <p>① 第2期始良市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し（案）について 報 告</p> <p>① 始良市子ども館（子育て支援拠点施設）について</p> <p>その他</p>		
資料1	第2期始良市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し（案）について	
資料2	始良市子育て支援拠点施設（子ども館）実施事業について (運営方針より抜粋)	
<p>審議</p> <p>① 第2期始良市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し（案）について</p>		
(事務局)	<p>会議資料に基づき、説明</p> <p>I. 教育・保育の量の見込みと確保方策 資料 P1～ 5</p> <p>II. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策 資料 P6～ 13</p> <p>「第2章 子ども・子育て支援の基本的な考え方」に関する修正（案） 資料 P14～ 19</p>	
(委員)	<p>資料1：P3「5. 教育・保育の量の見直しの要否の判断について」における1号認定（3～5歳児）について、計画値1,026人に対し、実績値848人、差が178人で、乖離率がマイナス17.3%となっている。この計画値はどこから持ってきたのか。</p>	

(事務局)	令和元年度に計画を策定しており、その前年度、平成30年度の実績をベースに設定した数値である。
(委員)	4年前に設定した数値ということで理解した。 今年4月に公立保育所が民営化された。私の記憶では、それ以前の公立の保育所はずっと定員割れしていたと思う。公立の幼稚園が4つあると思うが、定員と実績を教えてほしい。
(事務局)	例年5月1日ベースで実施される調査によれば、加治木幼稚園が定員100名に対し50名。錦江幼稚園が定員70名に対し21名。建昌幼稚園が定員100名に対し74名。帖佐幼稚園が定員85名に対し43名である。
(委員)	公立幼稚園は大幅な定員割れという状況だと思う。定員355名に対して、園児数が188名であり、利用率は53%である。 この状況をみると、計画自体がおかしかったのではないかと思う。 実績値が848人に対し、660人が公立ではなく、私立を利用しているということか。
(事務局)	幼稚園と認定こども園の1号部分も含んでいる。
(委員)	公立以外の部分では充足しているのではないか。
(事務局)	令和4年度における認定こども園の1号認定の定員については、定員に対して100%に近い数値というわけではなく、少し余裕がある状況である。
(委員)	幼稚園の状況はどうか。
(事務局)	私立幼稚園については100%以上の受け入れをいただいている。
(委員)	認定こども園と私立幼稚園を合わせれば100%に近い充足率ではないかと思う。保育所が民営化したというのは市の財政も含めてということがあったと思うが、定員に充足していないということが問題となり、民営化という話になったと記憶している。であれば、公立幼稚園については、今後どうされるのか。
(事務局)	幼稚園事業については、教育委員会の管轄になるが、働いている母親にも利用され、一時預かりの方で対応をしている部分もあるため、今後利用している保護者のニーズに沿った園の運営というのを検討していく形になるかと思う。
(委員)	施設が余った状態が恒常化し、ずっと続いているのではと考えられるが、行政の効率化といった面から見た場合に、非常に非効率的な運営をされているような気がするがいかがだろうか。
(事務局)	委員の指摘のとおり、幼稚園についてはずっと定員割れの状況にある。委員のご意見も踏まえ、今後、施設の充実した運営を検討していくとともに、

	定員の見直しをするという形で市の方で考えていきたいと思うし、教育委員会への申し送りもしていきたいと思う。
(委員)	定員に対して予算がついているため、早期に定員の適正值への見直しをしないと我々市民は税金を払うだけである、といった認識を持つ市民が多いのではないと思う。見直しを行う根拠は正しいだろうし、見直しを行うことに対して意見はないのだが、見直しをするに至った経緯あるいは全容を考慮して、計画に落とし込んでいくことをお願いしたいという意見であった。
(議長)	他に異議なしということを確認し、審議終了。
【 承 認 】	

報 告	
① 始良市子ども館（子育て支援拠点施設）について 資料2	
(事務局)	会議資料に基づき、説明 始良市子育て支援拠点施設（子ども館）実施事業について（運営方針より抜粋） 資料 P20～ 22
(委員)	20ページの事業実施方針のところでは1点言葉が引っかかる。意図があるとは思いますが一意見として述べたい。 「しっかり学ぶ」の「しっかり」という言葉が職業上気になり、抽象的だと感じた。「楽しく遊ぶ」「みんなで支える」は定義付けしやすいが、「しっかり学ぶ」は何について学ぶのかというところが非常に抽象的だと思った。例えば、「子育て・子育てを学ぶ」とか「始良で学ぶ」や「地域で学ぶ」のようにもう少し具体的にすべき。実際、子どもに指導する時に、「しっかりしなさい。」「ちゃんとやりなさい。」という言葉は抽象的だから使わない方が良く考えている。スローガンが少し抽象的だとの印象を受けたので意見を述べた。
(事務局)	分かりやすく方針を示すことも大事だと思うため、いろいろな観点から検討していきたい。
(委員)	説明の中で、地域の方と情報交換を行ったとのことであったが、その内容について共有できることがあれば教えてほしい。
(事務局)	建設予定地である加治木町の旧ふれあい物産館周辺の方々に対して、解体工事に関する説明を行った。工事に関しては特段の意見はなかったが、現在の管理の状態について、「これまで同様にトイレを利用しようとした方が利用できずに困った。」というケースがあったので、トイレの利用ができない旨をきちんと示すように意見をいただき、対応を行った。

(委員)	<p>22ページの事業スケジュール予定の中で、令和5年10月から12月に職員の募集・面接を行うということだが、採用してすぐにスタートというわけにはいかないと思う。</p> <p>事前に職業訓練、シミュレーション、ロールプレイングといったことをしないと、4月にオープンした時に何をしてもらったのだろうかといったことになりかねない。プレオープンの際に行えばよいのかもしれないが、利用する人は、「対応する人＝プロ」との認識を持っていると思う。採用をしたらすぐにシミュレーション、ロールプレイングを行うなど受け入れ態勢を万全にしてほしい。そのためには、計画に職業訓練等をきちんと盛り込んでほしい。</p>
(事務局)	今後の参考としたい。
(委員)	利用者支援事業の資料はどこが作成したものか。
(事務局)	厚生労働省の資料である。
(委員)	前回もらった運営方針の中には、市としては利用者支援、地域連携、広報に力を入れたいと書かれていたため、今日の資料との違いを感じての質問だった。
(委員)	<p>先ほども事業実施方針に関する意見が示されたが、20ページ事業実施方針の中に「子どものいる家庭が遊べる施設」とある。この資料がどこまで市民の目に触れるものなのかは分からないが、小学校3年生までが利用対象とされている中、この文言だけをみると、すべての子どもが遊べるように感じたところである。</p> <p>また、「しっかり学ぶ」というところで「遊びや交流を通した学びにより子どもの育ちを保証する。」というところの「保証する」という文言が気になった。言い切る強い文言であり、ここに来たらあなたの子どもの育ちがしっかりとしたものになるといったふうに受け取られる。表現は考えなければならないが、「しっかりと支援する」といった言葉の方がよいのではと思ったところであり、検討いただきたい。</p>
(事務局)	重要な部分になると思うため、先ほどの指摘も含め、分かりやすい内容・表現となるよう、再検討したい。
その他	
(事務局)	<p>本会議の第3回を11月下旬から12月中旬に予定しており、期日が決まり次第、改めて連絡する。</p> <p>本日の議事内容等について、会終了後でも気づいた点や質問等があれば、事務局まで連絡をいただきたい。</p>
令和4年度第2回子ども・子育て会議を閉会	